

# 一般公開イベント JIA 建築家大会2016大阪 笑都物語



繋いできたもの 繋いでゆくもの

シンポジウム 01「文化都市の復権～大阪から全国へ」

10.27(Thu)



人間に格があるように都市にも格が備わっています。それを都市格と捉えるのなら、人格者が目指されるように高い都市格もまた追求さるべき目標です。かつての大阪は日本全国の物流が集中する経済・商業の中心地・天下の台所として繁栄し、様々な文化・芸能の蓄積、水の都と称される都市景観がありました。しかしながら近年は企業本社の流出など都市力の低下とともに、悪いイメージの大阪が自虐的に広まり大阪の都市格の低下は否めません。

このシンポジウムにおいてはまず、木津川計氏に「都市格」の定義付け、大阪における文化、都市イメージの問題点を提起をしていただきます。続いて香山壽夫氏に歴史・文化とどう向き合いどうつくってきたかということ、建築の御実作を中心にご紹介していただきます。最後に建築史家である倉方俊輔氏にファシリテーターをつとめていただき、文化的視点から、有形・無形の歴史にどう向き合うべきなのかということを考えて行きます。これまで受け継いできた文化・芸能・建築を活かす文化都市づくりによる大阪の都市格の復活。地方都市の代表格として大阪が元気になり全国への情報発信が可能となる都市の在り方、建築家の役割についての活発な討論を行っていただきます。



**木津川計氏**  
上方芸能評論家

1935年生まれ。大阪市立大学文学部卒業。  
1968年に自ら創刊し、編集長を務めた雑誌『上方芸能』は、この5月、200号を機に終刊。  
1985年-06年 立命館大学教授、他に和歌山大学客員教授、民放連盟賞中央審査委員長、文化庁芸術祭賞選考委員、芸術選奨文部科学大臣賞選考委員会主査ほかを歴任。【おもな著書】『人間と文化』(趣味)の社会学『含羞都市へ』生活文化の視座『上方の笑い』『上方芸能と文化』『人生としての川柳』『朗読・語り文化の地平』『ことばの身づくろい』他多数。  
【受賞】京都市芸術功労賞、京都新聞文化賞、第46回菊池寛賞、全国日本学士会アカデミア賞などを受賞。



**香山壽夫氏**

建築家  
東大名誉教授  
日本建築家協会会員

1937年 東京都生まれ。1960年 東京大学建築学科卒、1965年 ペンシルヴェニア大学美術学部大学院終了(M.Arch)、工学博士(東京大学)。1973年 香山アトリエ(現香山壽夫建築研究所)設立、1982年ペンシルヴェニア大学客員教授、1986年-97年東京大学教授など。以降多数の大学教授を歴任。主な作品に「さいたま芸術劇場」、「聖学院大学礼拝堂・講堂」、「東京大学安田講堂改修」、「京都会館再整備 ロームシアター京都」などがある。  
【受賞】日本芸術院賞(2006年聖学院大学礼拝堂・講堂) 日本建築学会賞(1996年彩の国さいたま芸術劇場) 村野藤吾建築賞(1995年彩の国さいたま芸術劇場)



**倉方俊輔氏 (ファシリテーター)**

大阪市立大学大学院  
工学研究科准教授  
日本建築家協会会員。

1971年、東京都生まれ。  
1999年、早稲田大学大学院博士課程満期退学、博士(工学)。  
2011年より大阪市立大学大学院工学研究科准教授。  
【共著】『吉祥寺ハモニカ横丁のつくり方』『これからの建築士』、『生きた建築 大阪』『大阪建築 みる・あるく・かたる』  
【著書】『ドコノモン』『吉阪隆正とル・コルビュジエ』  
【監修・解説書】『伊東忠太建築資料集』 などがある。



詳細

日時 : 2016年10月27日(木) 16:00~18:00

場所 : 大阪綿業会館7階本館大会場

主催 : 公益社団法人 日本建築家協会

参加費 : 無料

【問合先】公益社団法人日本建築家協会 近畿支部

541-0051 大阪市中央区備後町 2-5-8 綿業会館 4F  
TEL: 06-6229-3371 FAX: 06-6229-3374 MAIL: jia@bc.wakwak.com  
http://jia-osaka.org

